

校長室より(16) 20周年記念・東京都教育の日 講演会編

「はやぶさ2」のミッションマネジャーを務められた吉川真先生の講演会を実施

11月4日(木)学校と後援会の共催により、小惑星りゅうぐうからサンプルを持ち帰り、日本中に大きな感動を与えてくれた「はやぶさ2プロジェクト」のミッションマネジャーを務められた、吉川真先生からご講演をいただきました。

講演は挑戦をキーワードに、第1回、第2回の小惑星りゅうぐうへのタッチダウンの様子や新しい試みだった人口クレーターの生成など「はやぶさ2」の6年間52億kmの旅についてお話しいただきました。プロジェクトに向けた

「世界初の取組をやるんだ」という、強い気持を感じました。また、生命の起源が分かるかもしれない、サンプル5.5mgの分析の結果は2022年暮れになることや、その分析には270名もの研究者が関わっていることなどもご説明いただきました。最後に、自身の課題研究テーマに宇宙関連を設定している

2年女子が代表生徒挨拶をして終了しました。講演は残念ながらリモートでの開催でありましたが、保護者の来場もあり、内容も濃く、有意義な時間となりました。

<講演後：希望者による質疑応答>

講演後、本校では例年、希望生徒による質疑応答の時間を取り、講師の先生にご対応願っています。講演会後に、視聴覚教室にてリモートで30分程度の予定で実施しましたが、吉川先生には予定時間を超えて丁寧にご対応いただきました。

事前に準備していた質問を複数投げかける生徒が多く、内容は多岐にわたり、はやぶさ2の今後の拡張ミッションやミッションでターゲットとなる小惑星の種類などに留まらず、宇宙デブリ(ゴミ)問題やそのゴミ問題で回収を検討しているJAXAの研究グループがあることなども話題に挙がりました。保護者や物理の金子先生からも質問が出て、活発な質疑応答が繰り返されていました。(校長 久保 剛)

